TAKKO
田子町議会

Takko Town
AOMORI・JAPAN

議会だより

Vol.129



田子町最大のイベント！
第41回にんにくとべごまつり



Check ▶▶
- にんにくとべごまつり／多古町議会視察
- 決算審査
- 議会活動
- なかの東北絆まつり

令和８年１１月２６日発行　青森県田子町議会

千葉県多古町議会視察



令和８年１０月２日
千葉県多古町議会議員視察

ガーリックステーキご飯で昼食





みろくの滝視察





にんにくとべごまつり／多古町議会視察 P2～P3
定例会／審議結果・議員活動出席状況 P4～P5
一般質問 P6～P7
決算審査特別委員会 P8～P9
議員活動 P10～P11

にんにくとべごまつり



両町で交流を進めて、交流人口の増加を目指す！
宮村尚哉

人口減少・少子化等、共通課題の意見交換ができた。
菊地健二

春お世話になった方々と当町で再会。　欠端則夫

豪雨災害復興を願い、励まし合い交流を深める。
中平美賀子

長年の交流を今後も大事にしていく。
澤口　勝



町名が似ていることから交流が始まった〝千葉県多古町〟と〝青森県田子町〟。

6月には田子町議会から多古町を訪問し、今回は多古町議会から鵜澤議長をはじめ6名の議員の皆さまが来町されました。

滞在中は、ガーリックステーキごはんを試食したほか、みろくの滝の整備状況を視察しました。また、「にんにくとべごまつり」では、田子町特産の田子牛や丸焼きを味わいながら、両町の交流を深めました。今後も互いの地域課題や魅力を共有し、両町の発展につながる交流を続けていきます。

令和8年田子町議会 定例会・臨時会あらまし

定例会

令和8年第3回定例会が9月1日から9月10日までの10日間の会期で開催されました。

9月1日には諸般の報告、議案の上程・説明がされました。

9月4日の一般質問には2名の議員が登壇し多岐にわたり活発な議論がかわされました。

9月7日、議案の審議が行われ、同日、決算特別委員会が設置され10日まで開催し、一般会計から特別会計決算について審議がなされました。

9月10日には認定第1号及び、追加提案の審議、議員派遣の件、各常任委員会に係る所管事務調査の承認が行われました。

臨時会

令和8年第2回臨時会が、10月27日に開催され、議案3件が可決されました。

下記、議案等の採決結果については、時系列となります。

議案等の採決結果

件名と主な内容

賛成・・・○　　反対・・・×
欠席・・・欠　　退席・・・退
議長は採決に加わらないため・・・－

議案番号	件名と主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		議決結果	尾形 憲男	桃本 義見	宮村 尚哉	欠端 則夫	山崎 美代志		山崎 一義	菊地 健二	中平 美賀子	澤口 勝
令和８年田子町議会第３回定例会												
報告第８号	専決処分した事件の報告について（公用車の物損事故に係る免責証書及び損害賠償について）	報告	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議案第50号	田子町行政手続条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議案第51号	田子町乳幼児医療費給付条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議案第52号	動産の買入れについて（学習者用コンピュータ等購入）	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議案第53号	令和８年度田子町一般会計補正予算（第２号）について	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議案第54号	令和８年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第２号）について	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議案第55号	令和８年度田子町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）について	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議案第56号	令和８年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第２号）について	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議案第57号	令和８年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第２号）について	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
認定第１号	令和７年度田子町各会計歳入歳出決算の認定について	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－

議案等の採決結果

件名と主な内容

賛成・・・○　　反対・・・×
欠席・・・欠　　退席・・・退
議長は採決に加わらないため・・・－

議案番号		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		議決結果	尾形 憲男	椛本 義見	宮村 尚哉	欠端 則夫	山崎 美代志		山﨑 一義	菊地 健二	中平 美賀子	澤口 勝
令和８年田子町議会第２回臨時会												
議案第58号	工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	欠	○		○	○	○	－
議案第59号	動産の買入れについて（消防ポンプ自動車購入）	原案可決	○	○	○	欠	○		○	○	○	－
議案第60号	令和８年度田子町一般会計補正予算（第３号）について	原案可決	○	○	○	欠	○		○	○	○	－

議員活動出席状況

地方議会議員の活動は、単に本会議（定例会・臨時会等）などの会議に出席し、議案の審議などを行うだけでなく、当該地方公共団体の事務に関し調査研究するための研修会等の活動や、住民代表として住民意思を把握するための活動等、広域的かつ多岐にわたります。

会議等の名称	派遣場所	派遣期間	派遣議員
青森県町村議会広報研修会	東京都	8月28日	尾形・欠端・菊地
郡議長会議員研修会	田子町	10月15日	澤口・尾形・椛本・宮村 山崎（美）・山﨑（一）・菊地・中平
田子町顕彰状伝達式	田子町	10月20日	澤口
世紀越えトンネルフォーラム／トンネル協議会全体会	鹿角市	10月18日	澤口・尾形・宮村 山﨑（一）・菊地・中平
正副議長事務局長研修会	青森市	10月21日	澤口・尾形
なかの東北絆まつり	東京都	10月25日	澤口・尾形・椛本 山崎（美）・山﨑（一）

活動予定

会議等の名称	派遣場所	派遣期間
東京田子会	東京都	11月23日
二戸市・三戸町・三戸町議会議員協議会総会	二戸市	11月27日

議会を傍聴しませんか！！

田子町では３月に第１回定例会、６月に第２回定例会、９月に第３回定例会、１２月に第４回定例会が行われ、随時、臨時会が開かれます。定例会は一般質問を含め、会期中は、基本的に傍聴することができます。

※開会は前月末に行われる場合があります。
※ＴＣＶでは編集して放送しています。
※会期日程については田子町役場ホームページをご覧下さい。

一般質問

９月定例会では９月４日に一般質問が行われ、２名の議員が町政について質問をしました。内容は、質問した議員が要約し広報委員会が調整したものです。ＴＣＶでは録画放送を行っていますので、ぜひご覧ください。



欠端 則夫 議員

町有施設の老朽化と介護支援の課題

町有財産（建物）

Q 利用を終えた建物はどれくらいあるか。

A 旧三戸消防署田子分署、旧上郷中学校、旧かみごうこども園、道地にある旧教員住宅、清水頭にある旧教員住宅、職業訓練校の６つの建物となる。

Q どれくらいの年数が経っているか。

A 旧上郷中学校は61年、旧三戸消防署田子分署は55年、職業訓練校は53年となっている。

Q 自然災害での倒壊等の恐れはないか。

A 屋根や壁の劣化が進んでいる施設は、旧三戸消防署田子分署、旧上郷中学校、職業訓練校の3施設を確認しており、管理については十分に注視していく。

Q 撤去する順番等は決まっているのか。

A 順番については、周囲に住宅がある三戸消防署田子分署、職業訓練校を優先的に実施する必要があると考えている。

Q どれくらいの撤去費用が必要か。

A 現時点で正確な費用の算定はしていない。平成29年度の試算によると、旧三戸消防署田子分署が１３００万円程度、職業訓練校が１８００万円程度となっている。昨今の物価高騰等を考えれば、どの施設も数千万円規模となるものと予想される。

Q 予算のほとんどを前向きな政策に使い、後始末等に使わないことは考えなければならないのではないか。

A 通常かかる経費と事業により収入を上げる予算を考えると、なかなか取り壊しに向けられなかった。今後このことについても十分考えていきたい。

家族と同居している要介護者

Q 要介護者のいる家庭はどれくらいの数になるのか。

A 令和８年７月現在の要介護認定者は４３２人、うち介護サービスを利用している者は３６３人、要介護者のいる家庭の数は２５８世帯である。

Q 利用者のうち、一人暮らしの方の人数は。

A 63名である。

Q その介護者に対する支援はどのようになっているか。

A 町では令和７年度に58名に対して、家族介護支援金を事業として行っている。要介護３以上、要介護者本人が住民税非課税等、一定の要件を満たす場合、月６千円を支給している。

Q 中には徘徊等をする方もいて、介護者の負担も多くなっている。位置情報確認のＧＰＳ等を使うことがテレビで見られたが、町で利用している人はいるのか。個別の案件に対して支援を行ってはどうか。

A 当町では利用者はいない。近隣町村でも利用者はいないということだった。利用料が月2千数百円かかることも、利用しない一因と思われる。
このようなことで困っていることを、相談していただいて、考えていきたい。

一般質問



尾形 憲男 議員

持続可能な町づくりへの挑戦充実

目指せ1億円

Q 令和7年度の寄附額が前年度より1154万円減少した要因と、今後の取り組みは。

A 寄附額は令和5年度7674万6千円、令和6年度7421万7千円、令和7年度6267万9千円。ポイント付与の禁止に加え、物価高騰の影響で、主力返礼品のにんにくが選ばれにくくなったことも要因と分析している。今後は、にんにくの出荷体制やPRを強化し、田子町出身者に向けた返礼品の開発にも関係課・団体と連携して取り組んでいく。

Q 寄附金のうち、町が活用できる額と使い道は。

A 令和7年度は寄附額の約50%、約3140万円を基金に積み立てた。使途は教育文化1460万円、産業経済880万円、生活環境690万円、保健福祉600万円。まず寄附額1億円を目指して取り組みたい。

被害を食い止めろ

Q クマやイノシシが増えており、人の生活圏に侵入し農作物や人的被害も発生している。クマやイノシシを集落に近づけないため、どのような対策を進めるのか。

A ①野菜くずの除去や放任果樹の伐採、草刈りによる緩衝帯の整備
②電気柵などによる侵入防止と追い払い
③わなや猟銃による捕獲
の3つを基本に対策している。住民への周知を続け、地域と一緒に取り組んでいきたい。

Q 周辺自治体との連携については。

A 近隣町村とも情報の共有をし、広域的な取り組みも必要であると考える。

どうなる中学校の部活

Q 休日の部活動の地域移行や、県教育委員会の方針は。

A 令和8年度から令和10年度までの前期3年間で、県内中学校の地域展開をおおむね達成することを目標としている。休日は教員による指導を行わず、部活動指導員や地域同士の合同活動などに取り組む。

Q 町内で活動できる環境や、指導者の確保は進んでいるのか。

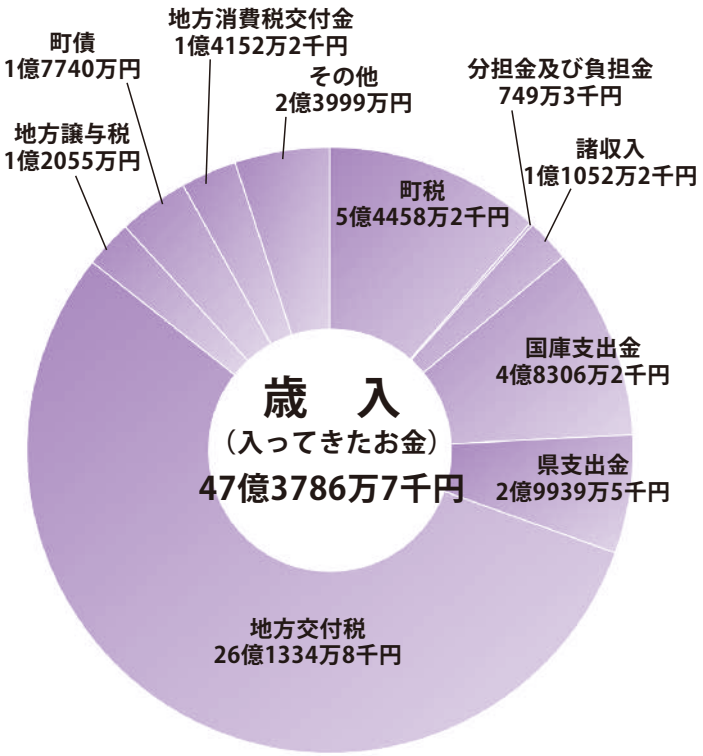
A 現在、部活動指導員制度に基づく指導員はいない。
地域クラブの運営は町単独では難しい競技もあり、近隣町村との合同組織も検討する。

○一般質問は、町政全般にわたり疑問点を問いただし、町の様々な仕事について報告・説明を求め、町政のチェックを行う大事な議員活動の場です。

- **質問の時期**
  定例会において行われ、臨時会では許可されていません。
- **質問の通告**
  質問する議員は期限までに通告書を作成します。通告書は議長の許可を得て町長部局へ配布されます。議場において通告書に記載された以外の質問をすることはできません。
- **質問の要領**
  質問はあくまで質問に徹するべきで、要望やお願い、お礼の言葉を述べることは慎むべきとなっています。

一般会計歳入歳出決算を認定！

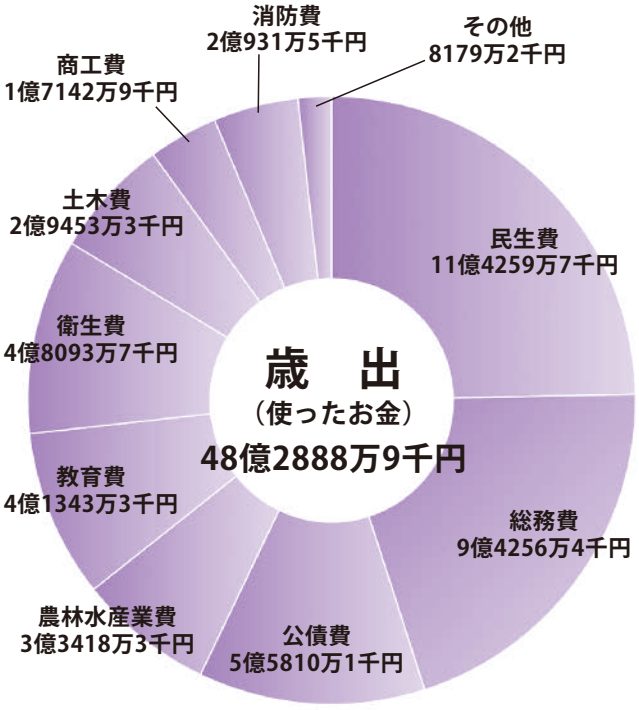
令和８年決算特別委員会では、一般会計・５特別会計の決算を審議し、 全会一致で原案のとおり認定しました。



歳入

前年度比　△3.0%

歳入	令和７年度	令和６年度
町税	5億4458万2千円	4億7855万7千円
分担金及び負担金	749万3千円	1413万1千円
諸収入	1億1052万2千円	9874万7千円
国庫支出金	4億8306万2千円	4億6931万円
県支出金	2億9939万5千円	2億8282万3千円
地方交付税	26億1334万8千円	25億7607万7千円
地方譲与税	1億2055万0千円	1億1787万5千円
町債	1億7740万0千円	3億1100万円
地方消費税交付金	1億4152万2千円	1億3105万円
その他	2億3999万0千円	4億312万6千円
合計	**47億3786万7千円**	**48億8269万6千円**



歳出

前年度比　△4.4%

歳出	令和７年度	令和６年度
民生費	11億4259万7千円	10億6379万1千円
総務費	9億4256万4千円	9億6300万4千円
公債費	5億5810万1千円	5億3125万2千円
農林水産業費	3億3418万3千円	4億3104万3千円
教育費	4億1343万3千円	4億2878万8千円
衛生費	4億8093万7千円	4億9413万円
土木費	2億9453万3千円	3億8730万5千円
商工費	1億7142万9千円	1億9899万7千円
消防費	2億931万5千円	2億5304万３千円
その他	8179万2千円	9160万3千円
合計	**46億2888万9千円**	**48億4296万1千円**

決算審査は、町のお金がどのように使われたのかを確認する大切な作業です。税金が無駄なく適正に使われているか、事業の成果はどうだったかなどをチェックし、今後のより良い町づくりに役立てます。

決算特別委員会　質疑（抜粋）

歳入

○山﨑（一）委員
町税の収入済額は5億4458万2千円となり、前年度と比較して約6600万円の増収となっており、項目別の増収では、町民税の市町村民税、固定資産税、軽自動車税が増収となっている。これらの税目についての、増収となった要因はなにか。

●税務課長
個人住民税は、事業所得や給与所得の増加、特に農産物の販売による事業所得の伸びが主な要因となっている。法人税割は養豚・養鶏業者の業績好調、固定資産税は養豚・養鶏業者による設備投資の増加が要因。また、軽自動車税は、税率の低い旧税率適用車が減少し、税率の高い新税率適用車の割合が増加したことが主な要因である。

歳出

○尾形委員
各項目の予算額に対して不用額が大きくなっている理由はなにか。実際には使用されなかった理由や、予算額と支出額に差が生じた理由について。

●各課長
旅費や負担金、補助金、使用料、委託料などの不用額について、事業・研修の未実施、申請額や実績額が予算を下回ったことが要因である。また、ガバメントクラウドの利用開始の遅れや施設修繕費の減少なども要因である。

○欠端委員
戸籍・住民情報システム標準化業務委託料について、国が推奨しているため国からの補助金などの財源はあるのか。

●住民課長
全国統一システムへの移行に伴う費用であり、国からの補助金が充てられる。

○尾形委員
「みろく館」の年間管理運営経費はどの程度か。また、建設当初に予定していた観光協会への管理運営の移行について、現在の状況と今後の移行時期の見通しはどうなっているか。

●商工振興課長
令和7年度は、施設管理・維持費が約488万円、人件費が約327万3千円で、合計約815万3千円である。
当初は観光協会で管理運営を行う予定だったが、職員不足や事業拡大により運営体制が整わず、現在は町職員が事務局を担当している。担い手育成が必要であるが、現時点では直ちに移行する状況にないと考えている。

主な歳出について

衛生費
予防接種、検診などにかかる費用

公債費
町債として借りたお金の返済など

土木費
道路や橋の整備や維持などにかかる費用

農林水産業費
農畜産業支援や産業振興などにかかる費用

総務費
国際交流や主な庁舎の維持管理、様々な政策にかかる費用

商工費
観光振興や施設の維持管理などにかかる費用

教育費
給食や小・中学校、文化財の保存、活用などにかかる費用

民生費
社会福祉や子育て支援、定住移住政策などにかかる費用

令和８年８月28日　町村議会広報研修会　全国会（東京都）



素晴らしい広報を作る町村は、多くの人と時間をかけていると感じた。当広報も学んだことをしっかり生かしていく。
広報委員会委員長　欠端則夫

令和８年10月15日　三戸郡議長会議員研修会（田子町）



今年の三戸郡議員研修会は、田子町を会場に開催されました。当日はタプコピアンプラザホールで、元地域おこし協力隊員で、現在は町内で起業している五十嵐孝直氏を講師に迎え、講演をいただきました。

令和8年10月18日　世紀越えトンネルフォーラム／トンネル協議会全体会（秋田県鹿角市）

フォーラム会場





来賓の国会議員や、鹿角市・田子町両議会議員のほか、鹿角市民や田子町民など多くの方がフォーラムへ参加していました。

協議会全体会





【参加議員からのコメント】

フォーラムの熱気に、進展する可能性を感じた。	澤口勝
秋田が動き始める！と感じたフォーラム。	尾形憲男
行政と住民が一体となり、進めることが大切！	宮村尚哉
早期着工に向け、一からの要望活動が必要！	山﨑一義
地域住民の理解と、物流・観光団体の参加が重要。	菊地健二
実現で地域の安全と、地方創生を目指す。	中平美賀子

総務・文教常任委員会 視察

令和８年１０月２３日
福島県天栄村役場

ふるさと納税で寄付額が増えている、福島県天栄村。ふるさと納税への取り組みなどの説明を受けました。
当日は担当課のほか、天栄村議会議長をはじめ、４名の議員の方々からもご説明いただきました。





天栄村役場、雰囲気とても良い。見習おう。
尾形委員長

田子町の資源を再確認し、価値を見いだす。
山﨑（一）副委員長

伝統ある田子神楽。後継者が少ないなかの出演に感謝。
椛本委員

ふるさと納税は、関係者が本気で一丸となる必要を感じた。
山崎（美）委員

雨のなか、物販に田子神楽は盛況だった。
澤口委員

令和８年１０月２４日
なかの東北絆まつり





当日は天候が悪く、来場者数などが心配されましたが、田子町ブースでは物販が好調でした。田子神楽のステージでは、雨の中、多くの方が足を止めて鑑賞していました。

つぶやき

今年も11月に入り、残すところ2ヶ月となりました。今年は、梅雨前線、秋雨前線、台風の被害は少なかったと思います。ただ、風の影響により、稲が倒伏したところがありましたが、無事、実りの秋を迎えることが出来ました。鳥獣被害では、猪の被害は多く、熊の被害は少ないと聞きました。猪・熊による人身事故が無かったことは幸いです。
これからの、雪片付けの重労働が始まります。事故や健康に気をつけて頑張りましょう。
（山﨑　一義）

発行・編集責任者
議長　澤口　勝
議会広報編集委員会
委員長　欠端　則夫
副委員長　菊地　健二
委員　尾形　憲男
委員　宮村　尚哉
山﨑　一義
（１２９号）
執筆協力
全議員

■発行／田子町議会　青森県三戸郡田子町大字田子字天神堂平８１　TEL 0179-20-7121 FAX 0179-32-4294
■編集／田子町議会広報編集委員会 ■メールアドレス takko0601a@town.takko.lg.jp【印刷】有限会社赤坂コピーライツジム